

企業会計決算審査特別委員会会議録

日 時 令和7年9月16日（火）

午前9時開会

場 所 役場4階大会議室

1. 出席者 委員長 南雲まさ子 副委員長 田代実
委 員 北村和士 武尾哲治 吉田功 中津川定雄 秋田谷光彦 井上栄一
古谷星工人 飯田一 寺嶋正
オブザーバー 議長 平野由里子
- 2 欠席者 な し
3. 説明者 執行側 町長・副町長・環境上下水道課長・課長補佐兼係長
4. 議 題 (1) 認定第7号 令和6年度松田町上水道事業会計利益の処分及び決算の認定
について
(2) 認定第8号 令和6年度松田町寄簡易水道事業会計決算の認定について
(3) 認定第9号 令和6年度松田町下水道事業会計決算の認定について

5. 審議の内容

委 員 長 皆さん、おはようございます。

議員各位には、定刻までに御参集いただき、御苦労さまです。ただいまより、企業会計決算審査特別委員会を開催いたします。

企業会計決算審査特別委員会の委員長を務めます南雲まさ子です。副委員長は田代実君が務めます。よろしくお願ひします。

田 代 委 員 よろしくお願ひします。

委 員 長 企業会計決算審査特別委員会委員は、委員11名選出されております。

本日の特別委員会委員は、委員11名中全員が出席し、定足数に達しておりますので、直ちに会議を開きます。なお、議長はオブザーバーで出席していただいております。このメンバーで進めてまいりますので、よろしくお願ひいたします。

本日の特別委員会に傍聴を希望される方はございませんが、この後傍聴人名

簿に記載していただき、傍聴を許可いたしますので、御承知お祈りいたします。

なお、議会事務局より写真撮影とパソコン使用、議事録作成のため、録音の申し出がありましたので許可をいたしました。御了承願います。

町長並びに議長がお見えですので、御挨拶をいただきたいと思っておりますので、よろしくお祈りいたします。本山町長、お祈りいたします。

町長 皆さん改めましておはようございます。今日、企業会計の決算審査特別委員会ということで、大変お忙しい中お時間をつくっていただき、このような場を設けていただきましたこと感謝申し上げます。ありがとうございます。

また、13日の松田町敬老会におかれましては、大変お忙しい中足をお運びいただきまして本当にありがとうございます。また、議長におかれましても、祝辞をいただきましたこと、感謝申し上げます。その場でもお話をしましたけどもね、非常に高齢化率が少しずつやはり上がってきていると。ただ、一方で、65歳以上の方々も元気な方々がいらっしゃいますから、それに対してはしっかりとやっていくよというようなメッセージを、川田シニアクラブ会長さんからお話いただきましたけども、ただ、今はいいということだと思っております。あと10年後、20年後、自分の年齢を足してもらえれば分かると思っておりますけども、その先を見越して、行政というのは対応しているわけなので、この数字というのはもうそをつきませんしね、急になくなることもないでしょうから、そういった格好で、我々も高齢者の方々を守るためにも、支える若い世代を、やはり流入を増やしていかなきゃいけないというふうなことで、非常に考えていますので、引き続きよろしくお祈りを申し上げます。

また、その後、開成町さんで阿波踊りが、大会ありました。そこの部分は副町長さんに、私はお祈りをさせていただいて、私は茨城県の境町さんのほうに、花火大会があるということでお誘いいただきまして、行って参りました。3万発です。松田町70周年記念で1,400発。約、そうですね。1時間半近く、音楽と花火とうまくコラボレーションしながら飛んでいました。

あれを見て、ふと思ったんですけど、何で松田町が3万発飛ばせないのかなと。うん。いきなり3万発無理なんだとしても、やっぱり来年あたりは、例え

ば、2,000発に増やすとか、3,000発に増やすとか、そういったところを気構え
というか、やはりよそがやっていることを松田町はできないじゃなくて、よそ
がやっているならもっとやっていこうよというふうな気持ちはやはり持たなき
ゃいけないかなというふうに、改めて、行ってよかったなと感じたところでご
ざいます。

ですから、そうなるやはり資金を確保しなきゃいけないので、そこがどう
しても行政経理と弱いところがありますから、そこを官民連携しながら、やは
りやっていきつつ、やはり予算の確保ということも含めながら、何でもかんで
も行政が出すんじゃないでなくて、民間からしっかりとお金を集めていくというよ
うなことを感じました。

私たちは、プレミアム席でよかったんですけど、その目の前には約3万人の
方々が、お金を払っていらっしゃるということでありまして、カメラマンの人
たちも写真、カメラマン席もお金を取って、本当ね、すごいなと思いました。
ましてや、全体を見ると30万人の方々が1日、周りにいらっしゃるというふう
なお話もありましたし、非常に考えさせていただきました。

今後も、ほかの自治体のいいところはしっかりと松田町も取り入れながら、
その結果、町民の方々が、「本当よかったね、今年の花火」なんて言ってもら
えるようなとかね、いろんな議論を続けてまいりたいというふうに感じました
ので、今後ともよろしくお願いします。

今日は、先ほども申し上げましたとおり、3会計のお話になります。もう、
私ももう前から感じておりましたけれども、やはりもともとの施設がある中で、
人口が減っている、当然負担が増えてくる可能性は十分あるところを、相当こ
れまでも努力しながら踏ん張ってきたような状況でもございます。そういった
御意見も多分、今後あるとは思いますがけれども、役場の職員にすぐ言うと、じ
ゃあ値上げですかとすぐ言ってくるんです。違うんだよ、稼ごうよと、ニーズ
を、売るなり何なり、という発想が全く出てこないというようなこともありま
した。選挙戦でそんなこと言うとまたおかしくなっちゃうかなと思って黙って
いましたけれども、当然ですけど、町民の方々に負担を増やさない行政を松田

町としてやっていきたいというふうに考えております。

今後は、皆さん方のお知恵をいただきながら、町民の方々が安心して暮らせる松田町にしていきたいということもありますし、下水道に関しては、流域下水が県が持っているところもあります。この間、県の町村会の副会長として行っていました。流域下水も将来的な延命計画なり何なりが全く示されていないと。請求書出したら金を払うなんて思ったら大間違いだということで、局長にも話をしてきたところがございますので、そういったことも、町の将来設計を兼ねながら、松田町として言うべきことを言いながらやっていきたいというふうに考えていますので、その辺も含めて御審議いただければということでお願い申し上げます、御挨拶とさせていただきます。

今日はよろしくお願ひします。

委員 長 ありがとうございます。それでは、平野議長、お願ひします。

議 長 皆さん、おはようございます。9月議会ももう終盤になりまして、今日は3企業会計を決算審査特別委員会ということで、11人全員で臨むということです。予算のときもこのような形でやっていたということで、同じ形で対応しようというふうになりました。しっかりと皆さんで審査していただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

委員 長 ありがとうございます。それでは、町長におかれましては、副町長以下の職員に任せるとのこと、退席いたしますが、御異議ございませぬか。

(「異議なし」の声多数)

町長は何かありましたらお呼びいたしますので、自席にて待機をお願いいたします。ありがとうございます。

(町長退室)

なお、本日の特別委員会は、環境上下水道課の出席をお願いしてあります。この場にお呼びしてよろしいでしょうか。

(「お願ひします」の声あり)

お願ひいたします。

それでは、環境上下水道課の課長、係長、本日はよろしくお願ひいたします。

お諮りします。審査方法はどのように行ったらよろしいでしょうか。御意見のある委員の方はお願いいたします。

吉 田 委 員 委員長の腹案がございましたら、そちらで進めてくださったほうがいいのではないかと思います。

委 員 長 今、3番委員から委員長の一任ということによろしいかと思えますという御意見がございましたけれども、それによろしいでしょうか、皆さん。

(「異議なし」の声多数)

それでは、委員長一任ということですので、次のように行ってまいりたいと思います。

一会計ごとに審査を行います。

最初に、上水道事業会計全般について質疑を行います。なお、上水道事業会計は、剰余金が生じていて、336ページ下段に剰余金処分計算書の案が掲載されています。この剰余金については、生じた利益や資本剰余金の使途を決定するための議会の議決行為となっているため、本会議において、利益の処分の議決と決算の認定についてと採決を2回行いますので、御承知おきください。

次に、寄簡易水道事業会計について質疑を行います。議運で出た意見に従い、寄簡易水道事業会計については、他会計から借り入れている状況で、将来的に借入金の返済が大きな負担となるとの監査の指摘があり、その指摘に関してと、その他の質疑を行っていきます。

下水道事業会計は、寄簡易水道事業と同じように、他会計から借り入れている状況で、将来的に借入れの返済が大きな負担となる監査の指摘があり、その指摘に関してと、下水道管の状況、そして、その他と質疑を行っていきます。

このように取り計らって異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。それでは、審査を始めさせていただきます。

説明員の皆様をお願い申し上げます。答弁につきましてはハンドマイクを使用し、所属名と名前を言ってから質問に明確に答えていただくようお願いいたします。

委員各位へお願いいたします。議事録作成のため、発言の際には、議席番号と名前を言っていただき、質問箇所のページと、質問要旨ということでお願いいたします。

効率よく進行するため、一問一答方式の質問は御遠慮いただき、質問につきましては、まとめて行ってください。

それでは、認定第7号 令和6年度松田町上水道事業会計利益の処分及び決算の認定について、御質問のある委員は挙手をお願いいたします。

寺 嶋 委 員 ちよっとまとまっていないんですけども、まず、この上水道決算の事業報告書の中に幾つかあるんですけども……。

委 員 長 12番、ページをおっしゃっていただいてよろしいですか。

寺 嶋 委 員 342ページです。一応、この中に結果としては、営業成績の経常利益の結果ですけども、342ページの真ん中のほうに、今年度の営業成績ということで、経常利益がマイナス164万9,761円ということになってはいますが、それを受けて営業収益も若干前年度より減っているのか、とにかく、ということで、その主な原因、要因、経常利益がマイナスということで、水道使用料だとか、そういうところでの影響です。これらがどういうふうに影響をしているのか。実際、あと給水人口、人口ですね。それから、件数ですけども、こういうものがどういうふうに、前年度と比べてね、増減して経常利益が赤字になっているのかというところをね、お伺いをいたします。

大きく、経常利益の赤字の要因と、件数とか、そういう関係の結果を調べてください。

環境上下水道課長補佐 まず、給水人口等の昨年度比なんですけれども、給水戸数、給水人口ともにこちらのほうは微増となっています。給水戸数や給水人口は微増。給水戸数でいうと、60戸、60件の増。給水人口でいうと12人の増という形で微増にはなっているんですけども、給水収益、水道使用料です。こちらについては、昨年度より下がっています。節水等の機械の導入等が進んでいますので、水道使用量としては、人口等は若干減りましたがけれども、給水収益、水道使用料については下がったという現実がございます。

赤字の要因というところなんですけれども、給水収益、水道使用料が下がったということと、あと、営業外収益になるんですけれども、加入負担金のもので、ここ2年ぐらいですかね、令和4年度の辺りは、かなり開発等も進んで、加入負担金の収入大きく入ってきたんですけれども、そこが一旦開発が昨年、一昨年、4、5、令和4年、5年に比べると、落ちついたというところで、加入負担金の減というものが一つ挙げられるもので、費用に関しては、物価高騰の関係で動力費、こちらのほうが令和5年度に比べると、大幅に上がっていると。そういったものを差し引きながら、収益としてはマイナスになってしまったという状況でございます。

以上です。

寺 嶋 委 員 給水人口はプラス。それから、給水戸数、一応増えているということなんですけれども、ただ、水道使用料そのものが大幅に減っているということですよ。これで見ると、大体、これで見ますと、前年度比では使用料、水道使用料が100万円以上、戸数は増えているけど、使用料が100万円以上減っていますよね。ですから、この使用料と、あと一般家庭だけでなく、業務用もマイナスなんですけれども、こういう企業関係ですか、大口利用者が減っているような感じなんですけれども、これを何というのでしょうか。増やしていただけるというか、使用量をなるべく今、物価高騰でね、皆さん、節約していますけれども、やはりそういう中で、いかに松田町の水道水を使ってもらおうかという、そういう企業努力といいますか、そういうところをどういうふうにと考えているのかということなんです。

特に業務用は、これ相当響いているんじゃないかなと思いますけど。この企業の関係は、大体どういう状況になっているのか、お伺いします。

それから、営業外費用では、加入負担金、この中での主な収入は加入負担金がほとんどなんです。あとは、この加入負担金が大幅に前年度では、件数でいうと最盛期は50件以上あったわけなんですけれども、今、落ちついているということで30件ほどになっているんですけれども、この営業外収益の加入負担金に頼っているという言い方悪いんですけれども、加入負担金が490万円ほど大きく

マイナスしていますので、この加入負担金の代わりとっては何ですけれども、営業外収益なんか収入を得る利益といいますか、得るような、そういうような何か手だてはないのでしょうか。お伺いします。

環境上下水道課長補佐　　まず、水道の利用していただくためのPRがどのようになっているかというところなんですけれども、先だって始めております水道の審議会においても、松田の水、飲み水としては非常に安くておいしいという。成分的にもいいことが証明されているというところをもっとPRしていただくというような御意見をいただいている中で、家事用の飲み水としてもっと使ってもらえるようなPRというのは必要だということ、うちのほうも今後広報等で、その辺はお話ししていきたいというふうに思っています。

業務用のほうにつきましては、一応一番大口で県立病院が使用していただいているという、県立病院、使用していただいているというところが業務用もかなりの部分を占めているんですけれども、業務用です。業務用の使用水量については、病院の使用が非常に多いという中で、そちらのほうは、自前の井戸との併用で使われているという状況もあるので、ちょっとなかなかその使用を伸ばすという話を持ちかけるのは現段階で難しいのかなというふうに思っていますけれども、家事用と合わせて使っていただけるような方策は今後、引き続き考えていきたいというふうに思います。

実際、加入負担金のマイナスを補えるようなものがあるかという中では、実際にもうこれ以上、開発がなかなか場所がなくて、増えていかないことで考えれば、本来の在り方としてはやはり営業外収益に頼るのではなくて、経営としては営業収入のほうで賄えるような方策というのを考えていかなきゃいけないというのが大原則だと思っていますので、まずはそちらのほうから整理していきたいというふうに考えているところでございます。

以上です。

寺　嶋　委　員　　6年度決算で、単年度で、営業利益が164万9,500円、マイナスの164万9,761円ということと、あと、実際今度は、当年度末未処分利益剰余金が、前年度繰越金も入れて、剰余金が1億2,000万円ほどあるわけなんですけれども、という仮

にといいますか、単年度で1,600万円だから1億円だとそのまま推移すると10年ぐらいで剰余金がなくなっちゃうというようには見受けられるんですけども、そういうところで、やはり今後、そういう水道事業に対しての何らかの経営方針を途中で見直す必要もあるんじゃないかと思うんですけども、この辺についてはいかがでしょうか。

環境上下水道課長補佐 おっしゃるとおり、今現状、経常収支が上がってきていないという状況の中では、まず、その水道審議会において、経営の在り方が今審議いただいているところですので、その結果を持って答申を受けて、町としても料金の見直し等を含めて考えていくという状況でございます。

以上です。

寺 嶋 委 員 上水道事業審議運営審議会というのは、これは大体どのぐらいの間隔といたしますか、その時々的情勢に応じてやるのかね。審議会はどの程度やっていて、これからどういうふうな時期にやろうというお考えがあるのか、その辺最後にお伺いをいたします。

環境上下水道課長補佐 水道審議会については2年の任期で必要に応じて招集して開催するという形になっているんですけども、令和5年度に一度審議会に答申いただいて、一度終わっております。ただ、現状の水道審議会そのものは上水も簡水も両方一緒に審議しているんですけども、今のこの水道の財政状況の厳しいことを受けて、その5年度の答申の内容からやはり状況がかなり変わっているというのを受けて、今年度改めて実施を始めておりまして、これまで2回実施はしているんですけども、ただ、委員さんが変わったりもしている状況の中で、この2回については過去の答申の内容の振りかえり等を中心に行って、今の状況把握、こういったものを中心にやっているんですけども、次回10月に予定しておりますけれども、その辺からは、将来のシミュレーション等も含めて審議していただくというふうに考えているところでございます。

以上です。

寺 嶋 委 員 終わります。

委 員 長 ほかにございますか。

飯 田 委 員 ちょっとお伺いしたいんですが、最近特に利用する水の量が、かなり急にと
いったらおかしいんですけど、ちょっときついような感じが見受けられるんで
す。今までの下がってきたより。最近は。そういうふうに感じませんか。

環境上下水道課長 それはあれですか、絶対的な水の量が。

飯 田 委 員 そう、そう、そう。それで、私がちょっと質問したいのは、今、災害なんか
に対してね、カインズとか、ああいうところを見ると、水がすごく、見ている
と売れていますよね。それとか、あと、各家庭でね、サーバーを設置して、毎
月業者が水だけを交換して、そういう商売も今あるというふうなことでね、そ
ういうふうな影響があるのかどうか、松田の水はおいしいという評判なんだけ
ど、それでもそういうふうな売れ方というか、予備的に自宅で備蓄したり、そ
ういうのはかなりあると思うんですが、そういう影響というのは、ある程度考
えられるのでしょうかね。

環境上下水道課長補佐 今、おっしゃったように、サーバーを家に置くなどという家も確かに増えて
いますので、給水戸数とか、人口が増えても、やはりそういったところに持っ
ていかれてしまっている部分というのは少なからずあるとは思いますが。また、
備蓄についても、町のほうでも災害時に、3日間については御自分で用意して
いただきたいという、緊急遮断弁等が閉まって、その確認が取れるまでは、水
の供給がもしかしたらストップするかもしれないという中では求めているとこ
ろでもありますので、その辺の影響も、売れている、ホームセンターなどで売
れている状況というのは、うちから頼んでいる部分もあって、そういった状況
もあり得るのかなというふうに思うところでございます。

以上です。

飯 田 委 員 ということは、例えば、そういうものがどんどん売れて、昔は水といえば水
道からしか取れなかったものが、今、多様化してね、いろんなところから水が
入ってくるようになったと、そういうふうなこともあって、ただ、じゃあ、町
の行政の中で、もう水道がそれについて何も手を打たなかったら、それも自由
競争の社会ですからやむを得ないと思うのですが、じゃあその分ね、じゃあ、
水道水を値上げしようとか、やはりそれしか対応策がないのかなと思うんです

よ、健全な経営を生むにはね。それには健全な経営に持っていくためには、料金値上げということが一番手っ取り早いというふうな方法は取るんですけど、じゃあ、ほかに変わる方法は、考えたといったなかなか出てこないと思うんですよ。やはり最終的に行き着くところは、やはり料金の値上げに結びついちゃうかなと思うんですが、例えば、前回の値上げはいつだったのか。

大体、審議会なんかやるとね、今回は4年後なら4年後に、また再検討臨むとか、そういう付帯項目が意外とついているんですけど、じゃあ、4年経ったからといって本当にやっているかという、やっていないのが現状だと思うんですよ。私も、その審議会の回答が上がってくると、議会の委員会のほうで揉みますよね。そうしたときに、付帯項目載っていても、じゃあいいねということを通すんですけど、実際4年後に、担当課がちゃんと、そういう審議会はまたそこでしているかという、していないと思うんですよ。前回やったのはいつですか。前回、その前回ぐらい、値上げしたのはいつか、ちょっと教えていただければ。

環境上下水道課長補佐 すみません。ちょっと、ぴったりした数字、年数は分からないですけど、平成の10年前後に最後の。6年ぐらいです。その頃に。

飯 田 委 員 平成10年。その前。

環境上下水道課長補佐 平成です。

飯 田 委 員 平成6年。

環境上下水道課長補佐 最後の改定が行われて、それ以降は消費税の見直し以外は行われていないというのが実情です。

飯 田 委 員 平成6年という、約30年前ですよ。そうすると、30年前から料金体系全然変わっていませんよ。そういうふうなことだと思うんですよ。そして、私が言いたいのは、30年前に値上げしたからといって、その値上げが黒字になるか、あるいはとんとんになる数字じゃないと思うんです。

例えば、60%上げれば、収支とんとんになるけど、行政のいろんな考え方の立場もあって、じゃあ、そのときは20%に抑えましょう。急激な値上げが好ましくないというようなことがあると思うんです、はっきり言えば。そうしたら、

20%そこで上げた。それでもまだ40%赤字なんですよ。赤字だから、また4年後にね、その続きをやりましょうということで、4年後の再検討という言葉につながっていると思うんですよ。ここでね、とんとんになれば、再検討する必要ないと思うんですよ。赤字があつたりする場合。もう20%上げても、赤字は赤字なんだと。ただ、その赤字の幅が狭まっただけの話で。だけど、時が進んで、いろいろな所得が上がったりして、やっぱりそういうものがどんどんまた開いてきますよね。そのときには20%、40%下がったんだけど、どんどんどんどん上がって、また、・・・。

そういう長期的にね、審議会のほうでもそういうふうな付帯項目をつけて出しているのに、担当課がそれで動いていないということですね。前の報告書なり、今まで審議会でやった経過も合わせて見てみれば分かると思うんですけど、そういうふうな値上げでもいいのかもしれないんだけど、急に値上げは難しいからね。それ着実にやはり、4年後やろうといたら、また4年後に審議会を開催して、そうしていかないと、どんどん、どんどん開く一方だと思うんです。

委員 長 飯田委員、一応、赤字ではないので、ちょっと質問の、黒字なので。上水道。

飯田委員 松田、上水、黒字なの。さっき赤字だと。

田代委員 経常収支とすれば赤字なんだけど、剰余金のほうから回しているから決算上赤字じゃないんだよね。

飯田委員 これは、水道に限らずね……。

委員 長 水道、上水道に限ってです。

飯田委員 上水道に限らず、みんなそうだ。ここでやろうとしていることはみんなそうだと思うんです。だから、その辺もちょっと考えてもらいたいということで、よろしくをお願いします。

委員 長 要望でよろしいですか。

飯田委員 はい。

田代委員 今、確認ということで、質問させていただきます。ちょっと私の勘違いあるかもしれませんが、副町長、当時の状況を思い出してほしいんですけども、上水か下水かちょっと私、頭の中で整理できていないのです。多分、上水

だということですね、確認の話なんですけども、副町長はね、水道課長、上下水道課長になられた頃にだと思っただけで、平成25年前後ぐらい、水道料の多分値上げだと思っただけなんですけど、料金改定をこの辺の2市8町、2市5町だね。比較して、松田はね、4割ぐらい安かったんだよね。施設を更新するためには、37、8%ぐらい値上げしないといけないというふうなことで、1回目に料金改定をその頃やったんですよ。その後に、ある程度4割近く上げていかないと維持できないということで、2回までやった記憶あるんですよ。私が議員になって2回目にやっていると思う。それが多分、上水のことだと思っただけで、今の話だと平成6年だか4年にやって以来というけれども、答申を受けて多分やって、そこそこの料金になったから、今、何とか黒字になっているというふうに私、理解しているんですけど、副町長どうですか。その辺。

副町長 すみません。じゃあ、座ったままでよろしいですか。

私が建設課長やっていたときの話ですけれども、平成25年まで実は下水道の使用料の見直しです。

田代委員 あれは、下水道だけ。

副町長 させていただきました。それで、議員おっしゃるとおり、40%の値上げを提案させていただいたんですけれども、さすがに町民の皆さんへの負担が大だということで、1回目は20%で申請させていただいて、4年後に残りの18%値上げという形でそのときは下水道を値上げさせていただいたという状況です。

田代委員 下水だった。分かりました。ありがとうございます。

4年後にもやったんだよね。

副町長 やりました。

田代委員 それで大体、下水道はある程度ついていった。周りの2市5町の料金体系と追いついている。そういう解釈ですね。分かりました。ありがとうございます。

委員 長 ほかにございますか。

北村委員 すみません。ちょっと確認、もう一回、ここで確認だけさせてください。

今、キャッシュフロー黒字で、資金繰りにはやはり若干、まだ余裕があるよというような話だと思っただけで、将来、人口、今の推計で大体減って

いくとかというそのシミュレーションの中で、それがいつどうなっていくのかというのとは多分、審議会ですら今、シミュレーションしている途中ですというお話だったと思うんですけども、それはいつぐらいに出る予定なんですか。

環境上下水道課長補佐 10月の下旬に次の審議会があるので、そちらまでには、一応、少なくとも向こう10年の財政計画で収入等も見えてくるような形でお示ししようと思っておりますので、それ以降にこちらのほうに情報提供等はさせていただければと思っております。

以上です。

北 村 委 員 ということはあれですよね。10年ぐらいのスパンでは、特段、今ある資金等々で運営はできるというイメージでいらっしゃるということよろしいですか。

環境上下水道課長補佐 その辺も含めて、決して足りるという状況を現状言える状況ではないと思っています。当然、設備投資等が今後、膨らんでいきますので、その更新の費用等を考えたときには、当然起債も当てるんですけども、今の剰余金等で対応できていけるかということ、なかなか難しいと思っています、上水道については。なので、その辺も含めてシミュレーションでお見せして、審議会のほうでは審議していただくというふうにご検討いただいております。

以上です。

委 員 長 ほかにございますか。

田 代 委 員 2点あります。まず1点が、町長が冒頭の御挨拶の中で、経営が苦しいから、値上げというふうに短絡的に行かないでくれと、収益を考えてくれというお話が出たと思います。10年ほど前もそうだったんですけど、水を売れないかと。松田の水はそれなりの非常によい水だということで、ペットボトルで水を売ったらどうかというのは、たまに出てくるんですけども、その件に関して、そちらの担当課としては、今まで検討されたのかどうか。要は、費用対効果で商売になるかどうか、そういう検討されたのかどうか。

今、上水道は結構一生懸命頑張っていると思います。結構、経営が厳しい中で、今回、現場を見に行かせてもらったんですけども、宮下水源、あれも大

水が来たときに、浸水区域の2.8メートルですか。その上に確保して、しっかりと町民の水を確保していくというふうな考えがある中で、頑張っていると思います。でも、しかしながら、やはり厳しくなってきたということで、2点目の質問です。先ほど、水道料金の改定が4年だか6年度だったというお話なんですけれども、今現在、審議会でも検討していると思うんですけどね。2市5町の水道使用料と比較して、松田の水道料金はどうなのかと。それと、あともう一点が、やはり施設をしっかりと更新していくためには、ある程度の留保金がないと更新できないということがあります。それとまた、铸铁管に県の地震災害対策整備事業か何かで、一度全部直したと思いますけれども、また基準が変わって、更新が必要だというふうにもなっています。そのようなことで、水道料に対して、今の水道料体系、決算業務体系状況で、更新のことを考えると、将来的にどうなのかと。それが2つ目の質問です。よろしくお願いします。

環境上下水道課長補佐　　まず、ボトルドウォーターの検討というところなんですけれども、ちょうど今、ふるさと納税の返礼品などにもできないかというところで、ボトルドウォーターの検討は進めております。ここで試験的に一度、ボトルドウォーターをタンクで持って行っていただいて、作ってみて、試作品を作って、今後それがうまくいけば、ボトルドウォーターとしての、メインはふるさと納税の返礼品になると思うんです。それでも、町には水道料金が入ってきますので、そういったものの取組については、現在進行しているところでございます。

それからあと、水道料金の2市5町の比較というところなんですけれども。

田　代　委　員　　ざっくりでいいですよ。平均よりも高い安い、どの程度違うかという。

環境上下水道課長補佐　　ざっくりで。全国的にいても、同規模でいうと、中井町と松田町が圧倒的に安い状況です。それ以外のところは、それ以上の高い金額で今、推移しているという状況でございます。

以上です。

田　代　委　員　　そうすると今、ふるさと納税返礼品、試験のためにボトルドウォーター検討していると。非常にいいことでございます。これがね、費用対効果でどの程度ですか。要するに、これだけの収益を生むには、最大のロット数あるでしょう。

それと販売単価、その辺の検討をされていて、概要があるようだったらお答え願います。

それとあと2点目、中井と松田が安い。これは前からそうなんですよね。今、このときに質問したのが、この値段、今の安い水道料金で、これから将来、設備を更新していかなきゃいけないですよね。そういったものを考えると、これでやっていけるのかと。取りあえず今は黒字だと。決算も、営業外収益が結構、水道の加入負担金があったのが、それが減ったから、160万円ぐらいね、できるような値上げ、経常利益は赤になってしまったんだけど、それほど悪い数字じゃないと思います。

先ほど、矢口係長から話があったように、営業外収益というよりも、営業外利益よりも営業利益、これを上げていかなければいけないということですので、今のお話の設備に対して、今の料金でやっていけるかどうか。設備をこれから更新しなきゃいけない。それで、水道料は極力、町とすれば据え置きしたいんだけど、その辺の限界がね、どの辺なのかということですよ。

また2点、すみません。お願いします。

環境上下水道課長補佐

まず、ボトルドウォーターの詳しい内容なんですけれども、現状、水道事業体としては、もう水を買って、通常で金額で水を買って。それをボトリングして出した利益というのは、ふるさと納税なり、その事業者に入っていくという仕組みで考えています。今考えているのはそんな状況なので、水道事業体としての収益は、売った水道の使用料のみというふうに考えていただきたいと思えます。

あと、設備に対してやっていけるかというところなんですけど、これちょっと、うちのほうで明確な試算を出しているわけじゃないんで、一般的な話をまずさせていただきますと、先だって、6月か7月頃だと思うんですけど、財務省の研究機関が全国的な調査結果を発表しまして、老朽化した水道施設を全て水道料金のみで賄うとした場合、平均で約83%の値上げが必要との試算が出ています。松田町もその数字に合うかどうかは分かりませんが、全国的に見てそういう状況だということですから、まず御理解いただいて、今後松田町は

施設整備の費用等を計画、施設更新計画等で試算した上で、水道料金の設定と
いうのを考えているところでございます。

以上です。

田 代 委 員 丁寧な回答ありがとうございました。ボトルドウォーター期待したんですけ
れども、一般会計にそのウォーターの金が入る。こちらの上水道事業のほうと
しては、水道料分しか入らない、水道使用料しか。そういう考えでよろしいん
ですよ。そうすると、すごいそれが収益が上がったという期待は、少し低い
のかなというふうに感じました。

それとあと今、施設の改修のためにこれからいろいろ研究していくとあった
のですけれども、審議会の進行と合わせてね、その辺ぜひやっていきたいと思
います。これは要望です。終わります。

委 員 長 ほかにございますか。よろしいですか。

最後に、議長のほうから。

議 長 皆さんの御意見が出尽くしたようなので、私から。皆さんがすごく丁寧な御
意見、御質問、出していただいたので、いろいろ疑問点だったところはだんだ
んクリアになってきたのかなと思います。

先ほどね、やはり私も気になっていたのは、町長が即値上げというふうなこ
とではなくてというのが、やはり挨拶などで、やはりちょっと「あっ」と思っ
たので、このボトルドウォーターの可能性、ぜひ検討していただきたいと思
ったんですが、それも今の8番議員の質問で、水道料金、水道の利用の部分は
水道会計に入るんだと。でも、普通のボトルのところは、一般会計とか事業者
に行くんだということで、ちょっとあんまり期待し過ぎてもあれだなというの
はちょっと分かりました。

そういったところを考えながらまた、審議会、それから、その後、もしこち
らの議会のほうに振られたらまた議会で考えたいと思います。ありがとうござ
います。

委 員 長 それでは、暫時休憩をいたします。 (9時52分)